

令和8年3月5日

保護者様

三田市立ゆりのき台中学校  
校長 南波 克典

## 学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様には、平素より本校教育にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度行いました「保護者アンケート」については、たくさんの方にご協力をいただき、ありがとうございました。集計ができましたので、報告いたします。子どもたちにも同じ内容の項目でアンケートを実施しております。ご確認ください。

- 1 調査対象 第1～3学年の保護者・生徒
- 2 アンケート回答者数(回答数/全数) 生徒・・・697/834 保護者・・・495/757
- 3 調査時期 令和7年12月
- 4 調査内容(項目の質問内容は各分析結果に記載)
  - (1) 学習指導 (2) 生徒指導 (3) キャリア教育・進路指導
  - (4) 教育相談 (5) 部活動 (6) 生徒会活動
  - (7) 学校行事 (8) 特色ある学校づくり (9) 防災教育
  - (10) 開かれた学校づくり (11) 施設・設備 (12) いじめ問題
  - (13) 総合(充実した学校生活) (14) 学校教育目標
- 5 調査方法 グーグルフォームによるアンケート方式
  - ・14項目をそれぞれ4段階(「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」「どちらかといえ  
ばあてはまらない」「あてはまらない)で評価
- 6 調査結果
  - <全体をとおして>
    - 生徒と保護者の肯定的評価に、10%以上の差はなかった。
    - 「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」と回答した割合の合計(以下「肯定的評価」とする。)は、生徒では9項目で、保護者では8項目で80%以上だった。
    - 「学校行事」の肯定的評価が保護者、生徒とともに90%前後と高い。

- 「生徒会活動」「学校行事」「充実した学校生活」への肯定的評価の高さから、生徒の意欲的、主体的な学習活動の取り組みの状況がうかがえる。
- 「教育相談」への肯定的評価が継続して高く、学校からの情報発信の充実、推進（「開かれた学校づくり」）とあわせて活動への理解や活用が進んできている。
- 「キャリア教育・進路指導」は、保護者の肯定的評価が70%未満と低位だった。

＜項目ごとに＞ ※（ ）内は、令和6年度

### (1) 学習指導

「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われているか。」

\*肯定的評価

＜生徒＞79.1（83.5）% ＜保護者＞77.2（75.5）%

○肯定的評価は、生徒、保護者ともに75%以上と概ね肯定的です。一方で少なからず学習に難しさや不安を感じている割合も5分の1を占めており、これからも授業内容の改善や、個に応じた学習活動の展開、テストの工夫、評価の研究に努めます。

### (2) 生徒指導

「あいさつやマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が丁寧に行われているか」

\*肯定的評価 ＜生徒＞87.1（91.5）% ＜保護者＞86.1（88.6）%

○生徒の「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。生徒・保護者とも肯定的評価が、85%以上となっており、これからも生徒との対話を大切にし、生徒の気持ちによりそった指導を心掛けていきたいと思えます。校則については議論を経て変更するなど時代に即した対応を生徒会中心に検討しています。

### (3) キャリア教育・進路指導

「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われているか」

\*肯定的評価 ＜生徒＞77.8（83.3）% ＜保護者＞69.1（74.1）%

○保護者の肯定的評価は70%を下回っています。3年生の進路決定を進めていく中では、近年の受験にかかわるシステムの大きな変化が保護者、生徒ともに不安を大きくしている要因の一つになっていると思われます。また、各学年で取り組んでいる進路学習を関連づけ、積み重ね、生徒が個々に卒業後の生活も含めたキャリアを考え見つけていく取り組みが不十分であると考えられます。本校でめざす生徒像を念頭に置き、3年間を見通した、継続したキャリア学習を1年生から充実させていくことに努め、その様子や情報発信を

より丁寧に行っていきます。

#### (4) 教育相談

「先生やカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどが必要な時に相談にに応じてくれるか」

\*肯定的評価 <生徒>83.1 (81.7) % <保護者>84.4 (84.4) %

○生徒・保護者とも肯定的評価が、80%を超えています。活動への理解が進む中で、保護者・学校と一緒に生徒を支えていく取り組みがより充実し、さらに気軽に相談できる場となるようこれからも学校通信などで情報発信を続けていきます。

#### (5) 部活動

「部活動は有意義であるか」

\*肯定的評価 <生徒>80.7 (85.0) % <保護者>73.5 (79.0) %

○生徒・保護者とも「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。部活動地域移行・地域展開が進み、部活動のあり方が少しずつ変化しています。学校の関わり方も変わっていく中で、生徒にとって大きな意義をもつ部活動をどのように捉え、支えていくか検討を進めていきます。さらに今後の進み方、変化についても情報発信していきます。指導の在り方についてなどは生徒の状況を把握し、前向きな気持ちで活動ができるよう共通理解をしていきます。

#### (6) 生徒会活動

「生徒会活動は活発に行われているか」

\*肯定的評価 <生徒>88.4 (90.2) % <保護者>85.9 (86.9) %

○生徒の「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。生徒・保護者とも肯定的評価が、85%を超えています。校内での委員会活動、行事での主体的な取り組みに加え、生徒会を中心に地域イベントに参加することなど、学校を取り巻く地域とつながった活動についても、生徒の中に強く意識されるようになってきています。特色ある学校づくりの中心として活動してきたことが評価されていると考えています。また、学校生活の充実にもつながっているといえます。

#### (7) 学校行事

「学校行事は有意義であるか」

\*肯定的評価 <生徒>88.3 (90.3) % <保護者>92.3 (92.0) %

○生徒・保護者とも「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。生徒・保護者とも

肯定的評価が、90%前後と高い評価です。行事の形がコロナ禍前に戻る中で、生徒の主体的な活動、行動が生き活きと発揮され、その中身と意義が評価されていると考えています。

#### (8) 特色ある学校づくり

「まちづくりと連携した特色ある学校であるか」

\*肯定的評価 <生徒>81.1(80.2)% <保護者>77.5(77.3)%

○肯定的評価が、生徒・保護者とも75%を上回っており、特色ある学校づくりの取り組みが概ね評価されています。本校では、2・3学期のコミュニティスクール委員会(以下CS)には新生徒会の生徒も参加し、意見を出し、交流の場をもっています。CSの委員の皆様からの提言を受けながら、さらに特色ある学校をめざして、より深く、広く地域とつながった活動を展開していきたいと考えています。

#### (9) 防災教育

「避難訓練を十分に行うなど、(地震や火災など)災害・非常時への備えができているか」

\*肯定的評価 <生徒>71.4(75.4)% <保護者>77.4(77.1)%

○肯定的評価が、概ね高いものの、災害の継承や対応、備えなど、継続した積み上げが欠かせないことがわかります。今後も年間2回予定している「防災訓練」の実施に加え、各教科の学習内容の中でも「防災教育」の観点で、学習を進めていきます。

#### (10) 開かれた学校づくり

「学校だよりやホームページなどによって、学校の情報は適切に伝えられているか」

\*肯定的評価 <生徒>83.6(85.8)% <保護者>86.5(89.7)%

○肯定的評価が、保護者、生徒ともに80%以上となっています。多くの方に「オープンスクール」、「授業参観」、学校行事を見ていただくことができました。より身近な学校となるよう、ホームページ、学校だより、まなびポケットでの情報発信も引き続き行っていきたいと考えています。

#### (11) 施設設備

「校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されているか」

\*肯定的評価 <生徒>73.6(73.8)% <保護者>80.6(77.9)%

○生徒の肯定的評価が75%以下となっています。老朽化の目立つところがあり、修繕改修を進めています。来年度にはエレベーターの設置も実現します。教育委員会への連絡・相談のもと、施設の整備に努めます。

## (12) いじめ問題

「学校として日ごろからいじめの早期発見・早期対応に取り組んでいるか」

\*肯定的評価 <生徒>79.1(78.6)% <保護者>75.1(78.9)%

○肯定的評価が、生徒・保護者ともに75%を上回っています。「命」と「心」を大切にするという基本姿勢のもと、「いじめを絶対に許さない学校」として、「学校いじめ防止基本方針」にもとづき、未然防止と早期発見に努めます。万が一いじめが発生した場合も、「学校いじめ対応チーム」により早期対応、組織的な対応で解消を図ります。「一緒に」歩む、より身近な存在として、不安と一緒に向き合い考えていく学校をめざします。

## (13) 総合(充実した学校生活)

「学校生活は充実しているか」

\*肯定的評価 <生徒>86.4(86.2)% <保護者>88.5(87.7)%

○生徒の「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。肯定的評価が、生徒・保護者とも85%を超えています。生徒との対話、主体性を大切にし、生徒会を中心にした充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきます。また、日々の主体的な行動の意欲を支える、学習や特別活動などの充実に努めます。

## (14) 学校教育目標

「学校は、「命」と「心」を大切にし、「一緒に」考え歩む学校であるか」

\*肯定的評価 <生徒>83.8(87.4)% <保護者>83.5(82.3)%

○生徒の「よくあてはまる」の回答が一番多くなっています。また肯定的評価が、生徒、保護者ともに80%以上となっています。さまざまな場面で学校教育目標を伝えてきた結果だと考えています。それを土台とし、誰もが、一人ひとりが大切にされる生活を安心して送れる学校になるよう、なりたい自分に向かって思い切り挑戦できる学校になるよう、すべての教育活動に取り組んでいきます。